

附 錄

學 事 の 狀 況

總 說

大正十年度ニ於テ掌理シタル教育事務ノ梗概ノ叙述スレハ小學教育ニ在リテハ從來ノ如ク就學及出席ノ督勵ニ力メ教育ノ普及徹底ヲ期シ理化實驗ノ設備ヲ完成シテ其ノ進歩ヲ圖リ又體操科指導ノ爲師範學校ニ教諭一人ヲ増シテ益々其ノ上進ニ勉メタリ實業補習教育ニ在リテハ國庫補助金ノ交附ヲ得縣郡ヨリモ相當ノ補助金ヲ實業補習學校ニ交附シテ發達ヲ圖レリ師範其ノ他ノ中等教育ニ在リテモ益改善充實ニ注意シ多クハ學級ヲ増加シ勉メテ入學志望者ヲ收容スルコト、爲シタリ其ノ他社會教育ニ在リテモ益指導獎勵ニ努メ漸々其ノ成績ヲ擧グルニ至レリ

學 齡 兒 童

學齡兒童ノ總數ハ男六萬千百十六人女五萬八千四百六十六人ニシテ其ノ内就學ノ始期ニ達シタル者男五萬三千四百七十七人女五萬四百六十六人ナリ即チ就學ノ歩合ハ男九十九人五分二厘女九十九人一分九厘平均九十九人三分六厘ニシテ男五厘女一分一厘平均八厘ヲ増シタリ兒童就學ニ關シテハ法令ニ依リ之カ督責スルハ勿論或ハ教育會學齡兒童保護會等ノ事業トシテ貧窮兒童ニ對シ食費若ハ學用品ヲ給與若ハ貸與シタルモノアリ又本縣教育資金中ヨリ金員ヲ交附シテ補助獎勵スル所アリタリ

小 學 校

學校設置廢止並設備、學校ハ尋常百五、尋常高等百六十七、高等ニシテ外ニ分教場百二十四アリ之ヲ前年ニ比スルニ尋常七ヲ減シ尋常高等三及分教場四ヲ増シタリ設備ニ於テハ各學校殆ト完成シ教授管理支障ヲ見ス

學級 尋常千九百五、高等二百八十二ニシテ前年ニ比シ尋常四十六、高等六ヲ増シタリ

二部教授 校舍營繕ノ爲一時二部教授ヲ爲シタルモノアリ補習科及加設科目 高等補習ヲ置クモノ一校、加設科目ヲ課スル學校ハ尋常百三十四、同分教場三十六、高等百五十五アリ

授業料 尋常小學校ニ於テ授業料ヲ徵收スルモノ福井市八校、敦賀町三校アルノミナルモ高等小學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルモノ百四十六校アリ

教員 本科正教員ハ男千二百三十七人、女五百四十九人、計千七百八十六人ニシテ學級總數二千八百八十七ニ比シ四百一人ノ不足ナリ

俸給 義務教育費國庫負擔法ニ依リ交附セラレタル金額ヲ教員ノ俸給ニ充テタルモノ尠ナカラス隨テ待遇上遺憾ナカラシムルヲ得タリ

勤續 本科正教員ノ勤續年數三十年以上ノ者二十一人、二十五年以上ノ者、三十三人二十年以上ノ者七十四人、十五年以上ノ者

百七十五人、十年以上ノ者三百二十四人、五年以上ノ者四百二十六人ニ及ヘリ

幼 稚 園

幼稚園ハ市立一、町立二、私立九(外ニ分園一)アリ前年ニ比シ町立一ヲ増シタリ市立順化幼稚園ハ福井市立順化尋常小學校内ニ町立小濱幼稚園ハ遠敷郡小濱町ノ寺院内ニ町立成器幼稚園ハ勝山町立成器尋常高等小學校内ニ設ケラル共ノ他私立ノ各幼稚園モ亦寺院境内又ハ基督教會内等ニ在リテ設備概シテ完全ナリ教科目ハ遊戲唱歌談話手技恩物等ニシテ植物細工、泥土細工ヲ加フルモノアリ

盲 啞 學 校

私立福井聾啞學校 本校ハ福井市日出下町ニ設置セラレ敷地二百五十坪、校舍百八十坪ヲ有シ其ノ内教室七十三坪ナリ器具圖書器械等相當ノ備品ヲ有シ客年財團法人ノ組織ニ變更シ現在生徒二十人ニシテ其ノ生徒失官ノ原因ハ皆先天的ナリ

私立福井訓盲學舎 本舎ハ私立福井縣教育會ノ設立ニ係リ福井市豊島中町ニ在リ教授科目ハ點字按摩マツサージ鍼灸衛生理衛生修身國語算術歴史地理理科體操ニシテ修業年限四年ナリ今生徒失官ノ原因ヲ掲クレハ次ノ如シ

	男	女		男	女
營養不	8	2	淋		2
麻	—	1	瀉	1	—
角	—	1	腦	1	—
火	1	—	膜	1	—
藥	1	—	內	1	—
外	1	—	計	13	6
傷	1	—			
ト	1	—			
ラ	1	—			
ホ	1	—			
ム	1	—			
ホ	1	—			
ム	1	—			
ホ	1	—			
ム	1	—			

福井縣師範學校

學校ノ設備 敷地一萬三千三百二十五坪七合五勺建家二千八百六十坪六合四勺農業實習地用橋梁十五坪二合ヲ有シ外ニ農業實習用地田二百八十六歩如千六百五十二歩樹栽用地六町歩ノ借地アリ大正十年度ニ於テ教室百二十坪手工室六十六坪柔道室八十坪其ノ他附屬建物八十九坪附屬小學校教室百四十五坪附屬建物七十二坪二合五勺ヲ新設シ又圖書器械標本等モ漸次購入シテ管理教授支障ナカラシメタリ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ノ總數二十一人ニシテ專任男十九人女二人ナリ今教員免許狀ヲ受得シタル事由ヲ掲クレハ次ノ如シ

東京高等師範學校卒業	9人
廣島高等師範學校卒業	2人
農業教員養成所卒業	2人
神宮皇學館卒業	1人
東京美術學校卒業	1人
東京音樂學校卒業	1人

試験檢定 3人
 以上男子 19人
 共立女子職業學校卒業 1人
 試験檢定 1人
 以上女子 2人

教員ノ需要供給繼續轉免及待遇 中等學校ノ増設又ハ學級數ノ増加ニ伴ヒ教員ノ需要頗ル増加シ缺員補充ニ困難ナリシモ幸ヒ相當ノ有資格者ヲ得テ殆ト所要ノ定員ヲ充タシ教授上差支テ來タラス教員ノ勤儉年數ハ五年以上三人ニシテ他ハ皆五年未滿者ナリ俸給ハ漸次増加シ年功加俸ヲ受クル者十二人ニシテ又委任待遇ノ者四人アリ

生徒訓育 本年度ニ於テ特ニ施設シタル事項次ノ如シ
 生徒ヲシテ將來國民教育ニ當ルヘキ職分ノ自覺ヲ明瞭ナラシメ日常ニ於ケル品性ノ修養學術ノ研鑽モ皆此ノ自覺ニ立脚シテ勵精セシメントナ期シ公明率直質素剛健ノ氣風ヲ興サンコトヲ努メ講堂訓話、讀書ノ選擇、新聞揭示、名士ノ講演ヲ催ス等思想ノ善導ニ注意シ或ハ男女生徒ノ戶外運動男生徒ノ武道ヲ獎勵シ及發火演習等ヲ行ヒ以テ士氣ノ振興ニ資シ又男生徒ノ校友會女生徒ノみこり會ノ規則ヲ修正シテ自治的活動ヲ獎メ前年來計畫ノ寄宿舎自治ノ方案モ其ノ完成ヲ圖リタルノミナラス通學路程一里以內汽車電車ノ乗車時間三十分以內ノモノニ限リテハ家庭ノ狀況ニ依リ通學ヲ許シタリ其ノ他生徒ヲシテ福井市内ニ小學校ニ於テ教育講演會ヲ開カシメ又本校講堂ニ於テ音樂演奏會ヲ公開シタル

生徒學業ノ進否 校舎寄宿舎ノ建築及設備等略々復舊シテ生徒學習上ノ不便モ漸ク除去セラレタルヲ以テ一層生徒ノ向學心ヲ振作セシメンカ爲各科ニ於テ自學自習ノ趣旨ニ本ツキテ教授方針ヲ定メ生徒ヲ激勵シタルヲ以テ其ノ進境頗ル觀ルヘキモノアルカ如シ但シ本年度ヨリ各科ノ合格點ヲ五十點ト改メ一般ニ配點ノ標準ヲ下ケタレハ點數ノ上ヨリ之ヲ觀ルルキハ次ノ如クニシテ前年ニ比シ幾分低下シタルハ止ムテ得サルナリ

	大正九年度		大正十年度	
	男	女	男	女
本科第一部	79.5	80.5	76.0	73.0
本科第二部	76.5	80.0	73.0	75.0

生徒修學旅行 本年度ニ於テ行ヒタル修學旅行次ノ如シ
 管外旅行

	人員	旅行地	日數
本科第三學年 女	37	京阪地方	6
本科第三學年 男	35	同	6
本科第四學年 女	33	東京方面	8
本科第四學年 男	29	同	9

管内小學校參觀旅行

	人員	旅行地	日數
本科第一部 第四學年 女	10	敦賀、三方、遠敷、大飯ノ四郡	4
同 第二部 第二學年 女	10		
同 第一部 第四學年 女	12	同	4
同 第二部 第二學年 女	9		
同 第一部 第四學年 女	12	同	4
同 第二部 第二學年 女	14		
同 第一部 第四學年 男	13	今立丹生ノ二郡	4

本科第一部 第四學年 男 15 坂井郡 4
 同 第二部 乙 男 20 大野、吉田ノ二郡 4
 同 第二部 甲 男 27 南條、今立ノ二郡 4

白山旅行
 本科第一部 第三學年 男 } 78 石川縣白山 5
 本科第二部 男 }

水泳旅行
 本科第一部 第一、二、四學年 男 } 150 坂井郡米ヶ脇 10
 本科第二部 男 }

臨海教育
 女生徒全部 150 大飯郡高濱 9

遠足旅行
 永平寺又ハ近郊數里ノ所ヘ一日若ハ半日間旅行數回
 長距離競走 福井鯖江間(四里) 男生全部
 陸上運動會 二回(内一回ハ若越體育大會ニ參加)

發火演習
 本校男生徒約百五十人ハ吉田、坂井、大野ノ三郡ニ亙リ三日間發火演習ヲ施行セリ又足羽山ニ於テ雪中空砲發火演習ヲ施行シタル

寒稽古
 男生徒ハ一月十日ヨリ二十日間男子部雨天體操場ニ於テ武術寒稽古ヲ行ヒタリ

入學志願者 比年漸減ノ趨勢ヲ辿リ其ノ素質亦低下ヲ免レサリシカ本年度ヨリ卒業後ノ待遇ヲ從前ニ比シ厚クシ又實業界不振ナルヲ以テ志願者大ニ増加シタリ今最近三年間ノ入學者ヲ觀ルトキハ次ノ如シ

年度	志願者數	入學者數
大正八年度	325	305
大正九年度	305	305
大正十年度	407	305

入學志願者父兄ノ職業別次ノ如シ

	農業	水産業	礦業	工業	商業	交通業	公務及自由業者	其他ノ有業者	家事使用人	無職	計
第一部 {男	31	-	-	3	-	-	3	-	-	-	37
{女	15	-	-	2	7	-	9	2	-	-	40
第二部 {男	46	-	-	3	1	-	5	1	-	-	51
{女	14	-	-	2	4	-	8	-	-	2	30
計	100	-	-	10	12	-	25	3	-	8	158

卒業者就職 本年度卒業者中第二部男一名ハ廣島高等師範學校ニ入學第二部女一名ハ家事ノ都合ニ依リ就職セス又第二部男十九名ハ一年現役兵トシテ步兵第三十六聯隊ヘ入營セリ

附屬小學校 尋常各學年ハ男女合級ニシテ高等ハ男女各別ニ學級ヲ編成ス今兒童教養教生指導等ノ狀況ヲ掲クレハ次ノ如シ

兒童教養 前年度ノ方針ヲ踏襲シテ教育ノ全作用ヲ統一の有機的ナラシメ教授ハ自學能力主義ニ依リテ個別取扱ヲ重視シ自律愛他ヲ高潮シ講堂訓話學校新聞等ニ依リテ思想善導ニ注意シ家庭ト聯絡シテ課外讀物ヲ檢閲シ活動寫真各種興行物ヲ觀覽ヲ戒メ一面健全ナル思想ノ扶植培養ヲ圖ルト共ニ惡影響ヲ避クルコトニカメ衛生思想ヲ涵養シテ自覺ノ上ニ節制運動ヲ獎勵シ學童保護會ノ事業トシテ七月下旬ニ於テ往復六日間三國海岸ニ夏期植民チ行ヒ又机椅子ト身長トノ關係ニ注意シ机椅子ノ交換又ハ座席ノ變更ヲ爲シタル

教生指導 第一學期ハ第一部第四學年女三十四人、第二部女三十三人、第二學期ハ第一部第四學年男二十八人、第三學期ハ第二部男四十人ナシノ少ナキハ三十時間多キハ六十時間、平均四十時間ノ練習ヲ爲サシメタリ指導方法トシテハ教育者ヲ養成スルヲ主眼トシ教育作用全般ニ對スル理解ヲ深クシ高尚ナル趣味ヲ養フコトニ力ヲ隨テ教授法ノ未技ニ趨ラズ教育ノ根底ニ觸レシムルコト、爲シタリ

其ノ他修身讀方書方算術理科等ノ新刊國定教科書ノ徹底的研究ヲ遂ケ處々ノ講習會ニ發表シ修身國語算術ノ成績考査法ニ就テノ研究ハ之ヲ縣聯合ノ教育研究會ニ於テ發表シ又圖畫教授手工教授等ニ關スル研究ノ結果モ教育研究會ニ於テ之ヲ發表シタリ

本年度ニ於テ行ヒタル專業トシテ、運動會二回、遠足二回、音樂會二回、學藝會毎月一回、大學藝會一回、臨海教授一回、父兄懇話會一回、學童保護會一回、活動寫眞會一回ナリ又毎週月曜日ノ講堂訓話ノ外ニ宮尊德橋本左内ノ記念日ヲ以テ講話ヲ行ヒ尙久留島武彦氏ヲ聘シテお加講習會ヲ開キタリ

又從來ノ如キ公開教授ヲ改メ毎月二回各訓導擔任學級ノ授業チ一時間以上外人ノ參觀ヲ許スコト、セリ

其ノ他縣下聯合教育研究會ヲ開キ修身國語算術ノ成績考査法及手工圖畫ノ自由研究ノ結果タル意見ヲ交換シタリ又指導ノ爲職員ノ出張シタルモノ主事二十二回、訓導二十二回、講習ノ爲出張シタルモノ主事三回、訓導二回ナリ

代用附屬小學校 明治四十四年度ヨリ吉田郡國山山西村立道明尋常小學校(市北端)ヲ代用附屬小學校ト爲シ年々經費ヲ以テ補助セリ本年度ニ於ケル補助額ハ七百貳拾圓ニシテ其ノ大部分ハ教員俸給ニ充テシメタリ兒童教養等ニ關シテハ附屬小學校ト同一方針ヲ以テシ尙校下實際ノ狀況ヲ考慮シ之ニ適應シタル施設ヲ爲シタリ

以上ノ外男女生徒ノ學藝會夏期休暇中ノ研究課題諸種ノ講話會開會等概シ從來ノ如シ

中 學 校

學校ノ設備 中學校ハ從來縣立四校私立一校ナリシカ大正十一年度ヨリ開校ノ目的ヲ以テ縣立一校ヲ増設セリ大正八年三月火災ニ罹リタル縣立福井中學校ハ前年度ノ終ニ於テ建物全部復舊シ尙本年ニ入りテ生徒足洗場理化教室附屬發電機及揚水唧筒室八坪七合五勺等モ落成シタルヲ以テ電動機ヲ用テ揚水シ理化教室及生徒足洗場ニ供給スルコトヲ得ルニ至リ縣立小濱中學校ニ於テハ卒業生ノ團體タル校友會ニ於テ鐵筋混凝土ヲ以テ御眞影奉安庫ヲ建設シ縣ニ寄附シタルニヨリ之ヲ採納シタリ其ノ他ノ縣立中學校ニ於テモ學級ノ增加ニ伴フ設備ヲ完成シ私立北陸中學校ニ於テハ排水溝護岸用石垣ヲ築設シ又雨天體操場生徒控所等ノ大修繕ヲ行ヒタル翌年度ヨリ開校スヘキ縣立三國中學校ハ敷地三町三段二十四歩ノ寄附ヲ採納シ生徒控所其ノ他ノ附屬建物二百五十七坪五合ノ建築ヲ竣リタルモ本校舎ハ建築工事中ニシテ未タ其ノ功ヲ竣ラズ各校トモ圖書器械標本ノ類ハ漸次購入スルヲ以テ教授上支障ナシ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ハ總テ

九十一人ニシテ專任八十七人兼任四人アリ其ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別次ノ如シ

	縣立中學校				私立北陸中學校	合計
	福井	大野	武生	小濱		
東京帝國大學文科大學卒業	1	1	1	1	1	兼 5
東京帝國大學理科大學卒業	—	1	1	1	1	兼 1
京都帝國大學文科大學卒業	—	1	1	1	1	兼 2
東京高等師範學校卒業	—	3	1	—	2	兼 8
東京高等師範學校卒業	—	1	1	2	—	兼 6
東京高等師範學校卒業	—	1	2	2	—	兼 1
第一臨時教員養成所卒業	—	—	—	1	—	兼 2
第二臨時教員養成所卒業	—	—	—	1	—	兼 2
第三臨時教員養成所卒業	—	—	—	2	—	兼 2
國學院大學卒業	1	1	1	2	兼 1	兼 1
神宮皇學館卒業	—	1	—	—	—	兼 1
東京美術學校卒業	—	1	1	1	—	兼 3
東京美術學校及東京外國語學校卒業	1	—	—	—	—	兼 2
東京外國語學校卒業	—	—	—	—	—	兼 1
早稻田大學卒業	—	1	1	—	—	兼 2
青山學院卒業	1	—	1	—	—	兼 2
日本體育會體操學校卒業	—	1	2	1	1	兼 5
大日本武德會武術專門學校卒業	—	—	—	1	—	兼 1
海軍教導團卒業	—	—	—	1	—	兼 2
日本大學卒業	—	—	—	—	1	兼 1
金澤醫學專門學校畢業	—	—	—	—	—	兼 1
其ノ他試驗檢定	17	4	3	2	1	兼 33
其ノ他無試驗檢定	—	—	—	兼 1	—	兼 1
總計	24	13	15	16	3	兼 87

教員ノ需要供給繼續待遇 中等教員不足ノ影響ハ稍緩シタルカ如キモ尙本年度中各該數名ノ轉任ヲ見殊ニ交通比較的不便僻在ノ地ニ於ケル學校ニ於テハ補充容易ナラサルモノアリシカ幸ニ缺員期間長キニ亘ラサルヲ得タルモ繼續十餘年ニ及フ者甚多カラス俸給ハ漸次増額シ待遇致テ薄シトセス

生徒ノ訓育 各學校トモ學級擔任、監督、風紀生等ヲ置キ指導監督ヲ行ヒ風紀振肅ニ勉メ又時々ノ訓話家庭トノ聯絡、校舎内外ノ灑掃從事等訓育上施設シタルコト前年ノ如シ

生徒學業ノ進否 各校生徒學業進否ノ狀況次ノ如シ

	大正九年度				大正十年度			
	生徒總數	落第者	落第割合	平均得點	生徒總數	落第者	落第割合	平均得點
福井中學校	693	51	.81	70	739	61	.82	71
大野中學校	335	30	.91	70	357	16	.43	71
武生中學校	525	53	1.01	69	548	43	.83	68
小濱中學校	351	25	.88	68	357	23	.78	70
北陸中學校	430	34	.91	71	478	40	.84	70
計	2,314	207	89	70	2,479	191	77	70

生徒修學旅行 福井中學校第五學年學生六十三人ハ六月二十五日ヨリ泊ヲ以テ岐阜三重奈良京都地方ニ修學旅行ヲ爲シ其ノ間歷史地理ニ就テ平素學習セル所ヲ實地ニ指導シ又名和昆蟲研究所各務原飛行場ヲ見學シテハ科學的智識ヲ増進シ研究的興味ヲ喚起シ伊勢大廟桃山御陵其ノ他ノ古社寺ニ詣テテハ忠君愛國ノ念ヲ涵養セシムルコトヲ圖リタリ又同第一學年第二學年學生徒ノ全部及第三學年以上ノ希望者ニハ大野中學校ト合同シテ七月二十二日ヨリ十日間九頭龍川小舟渡ニ於テ水泳術ヲ教授シタリ大野中學校第三、四學年學生九十人ハ五月八日ヨリ三日間金澤地方ニ

第一、二學年生百四十一人ハ五月八日ヨリ二日間三國町地方へ修學旅行ヲ爲シタリ武生中學校第五學年生五十五人ハ五月二十六日ヨリ五日間名古屋伊勢奈良大阪神戸京都等へ小濱中學校第五學年生三十八人ハ五月十八日ヨリ四日間奈良伊勢京都等へ北陸中學校第四學年生八十八人ハ五月二十二日ヨリ五日間京都大阪奈良三重ノ諸府縣へ修學旅行ヲ爲シタリ

入學志願者 各學校トモ入學志願者漸ク増加ノ傾向ニシテ何レモ募集人員ヲ超過セザルハナク福井中學校ノ如キハ募集人員ノ四倍六分ニ當ルノ志願者ヲ見タリ

入學者父兄ノ職業別

	農業	水産業	鑛業	工業	商業	交通業	公務自由業	其他ノ有業者	家事用人	無職	計
福井中學校第一一年	63	-	-	30	34	2	36	1	-	12	178
大野中學校第一二二四五年計	34	-	1	10	24	-	16	-	-	0	91
武生中學校第一三三四五年計	61	1	-	19	24	2	28	1	-	-	135
小濱中學校第一二三四五年計	37	1	-	13	22	1	22	3	-	3	102
北陸中學校第一一年	67	-	-	22	8	-	44	-	-	6	147
合計	271	2	1	99	114	6	152	5	-	28	678

高等女學校

福井高等女學校(縣立)

學校ノ設備 本年度ニ於テ作法教室製空實習室ノ改築及家事實習室ノ擴張ヲ爲シタルモ普通教室及特別教室ノ不完全ト不足トハ依然舊ノ如クナルヲ以テ相當ノ増築ヲ必要トス圖書器械標本ニ至リテハ漸次購入スルヲ以テ教授上不便ヲ感セス

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由 有資格教員ハ専任男九人女十一人兼任男一人ニシテ次ノ如シ

- 東京高等師範學校卒業 3人
- 東京美術學校卒業 1人
- 千葉高等園藝學校卒業 1人
- 國學院大學卒業 1人
- 試驗檢定 3人
- 以上専任 男子 9人
- 東京高等師範學校卒業 1人
- 以上兼任 男子 1人
- 東京女子高等師範學校卒業 6人
- 私立東京裁縫女學校高等師範科卒業 1人

- 東京音樂學校卒業 1人
- 東京女子英學塾本科卒業 1人
- 試驗檢定 2人
- 以上専任 女子 11人

教員ノ需要供給待遇等 本年度中轉退職セル教員二人ナリシモ之ノカ補充ニハ相當ノ日子ヲ要シタリ又俸給ハ時運ニ應ジテ増給シ待遇ヲ厚クシタリ

生徒訓育 質素ノ風ヲ養成セシメ爲制取ヲ著用セシメ作業ヲ課シテ勤勞ノ習慣ヲ養ヒ學友區ヲ定メ交互相誡メ毎朝一齊體操ヲ行ヒテ健康ヲ圖リ各學級實踐事項ヲ定メ躬行セシメ自治當番委員ヲ設ケ交代ヲ以テ全級生徒ノ行爲ニ注意セシメ又運動部學藝部等ヲ設ケ或ハ講堂訓話音樂會運動會名士講演會ヲ開キタル等略ホ從來ノ如シ

生徒學業ノ進否 生徒得點平均入點ニシテ前年ニ同シ
 入學志願者 年々入學志願者ノ數ヲ増シ本年第一學年二百二人ノ募集ニ對シ志願者六百二十七人ノ多キヲ見タリ
 入學者父兄ノ職業別 入學者ノ總テ二百二人ニシテ其ノ父兄ノ職業別ヲ察クレハ農業五十四人、工業十九人、商業六十一人、交通業三人、公務及自由業六十三人ナリ

大野高等女學校(郡立)

學校ノ設備 本校ハ從來實科高等女學校ナリシカ本年組織ヲ變更シテ高等女學校ト爲シタルモノニシテ設備略ホ完成シ教授管理支障ヲ見ス但シ本年度中校舎増築ニ著手シタルモ不幸暴風ノ爲倒潰シタルニヨリ更ニ再工事ニ著手シ近ク完成ノ見込ナリ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ノ専任六人兼任一人ニシテ其ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別次ノ如シ

- 神宮皇學館卒業 専任 1人
- 東京美術學校卒業 兼任 1人
- 以上 男子
- 東京女子高等師範學校卒業 専任 2人
- 奈良女子高等師範學校卒業 専任 1人
- 京都府立第一高等女學校專攻科卒業 専任 1人
- 東京裁縫女學校高等師範科卒業 専任 1人

以上 女子

教員ノ需要供給等 教員ハ從來ノ實科高等女學校ヨリ繼續スルモノ、外數名ヲ雇聘シタリ

生徒訓育 從前ノ如ク質素ニシテ勤勞ヲ好ムノ習慣ヲ養成スルコトニ力メ訓育上特ニ意ヲ用ヒタリ

生徒學業ノ進否 生徒ノ學業ハ漸次進歩シ成績良好ナリ
 入學志願者 募集人員百人ニ對シ百八十七人ノ入學志願者ヲ得タリ

入學者父兄ノ職業別 本年入學者第一學年農業四十七人鑛業一人工業七人商業二十七人公務及自由業十八人計百人ニシテ第四學年農業一人ナリ

武生高等女學校(町立)

學校ノ設備 本校ノ設備殆ト完成シ教授管理支障ナシ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ハ專任
男三人、女四人、兼任男一人ニシテ次ノ如シ

東京高等師範學校卒業	專任	2人
神宮皇學館卒業	專任	1人
東京帝國大學文科大學卒業	兼任	1人
以上 男子		
第六臨時教員養成所卒業	專任	1人
共立女子職業學校高等師範學校卒業	專任	1人
奈良女子高等師範學校卒業	專任	1人
試験檢定	專任	1人

以上 女子

教員ノ需要供給等 本年度中轉退職シタル教員三人ニシテ新ニ聘用シタル教員四人ナリ俸給等ノ待遇ハ相當ト認メラル

生徒訓育 教育勅語及戊申詔書ニ基キ教訓ヲ守リ貞淑ノ美德ヲ涵養シ藝術ヲ練習シ勤勞ニ堪ヘ實踐躬行スルノ方針ヲ以テ訓育ヲ施シタルコト前年ニ異ナラス

生徒學業ノ進否 生徒得點總平均前年七十八點九ニシテ本年七十八點ナリ

入學志願者 募集人員百名ニ對シ二百六十五人ノ入學志願者アリ

入學者父兄ノ職業別 入學者ノ總テ百人ニシテ其ノ父兄ノ職業ハ農業三十五人、工業十二人、商業三十六人、交通業二人、公務及自由業十四人無職一人ナリ

小濱高等女學校(郡立)

學校ノ設備 本校ハ本年度ヨリ從來ノ實科高等女學校ノ組織ヲ變更シテ高等女學校ト爲シタルモノニシテ設備略ホ完成ヲ見ル

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ハ專任男二人、女二人、兼任男三人ニシテ其ノ免許狀ヲ受得シタル事由別次ノ如シ

廣島高等師範學校卒業	1人
京都帝國大學文科大學史學科國史選科卒業	1人
以上專任 男子	
東京高等師範學校卒業	1人
東京美術學校卒業	1人
試験檢定	1人

以上兼任 男子

第六臨時教員養成所卒業	1人
東京裁縫女學校卒業	1人

以上專任 女子

教員ノ需要供給等 學年ノ初數學及理科擔任ノ教員ヲ缺キシモ一月ノ後補充スルコトヲ得爾後各科目モ缺員ヲ生セス俸給ノ他ノ待遇ハ漸ク之ヲ厚クシタリ

生徒訓育 組織變更高等女學校ト爲シタルニヨリ幾分學科ノ程度高キヲ以テ之ニ應ジ生徒ノ學力ヲ養ハサルヘカラサル必要アリ先ツ向上進取ノ氣象ニ富マシメ且規律秩序ヲ重シムルコトニ注意シ尙過去一年ヲ反省シ十一年ニ於テ特ニ徹底實行スヘキ徳目ヲ設定スル必要ヲ感ズ職員生徒ノ全部ニ其ノ選擇ヲ課シタル結果奉仕精神ノ實現ヲ期スルコトニ定メ更ニ其ノ實行案ヲ各自

ヨリ提出セシメタルニ生徒ノ大部分ハ其ノ趣意ヲ諒解シテ之ヲ實現スルコトニ勉メタリ

生徒學業ノ進否 學力補充ノ爲生徒圖書室ニ學習參考書ヲ備付ケ勉メテ生徒ヲシテ自習セシメ又數回ノ臨時試驗ヲ行ヒタル結果前年度ニ比シ成績大差ナキモ實質ニ於テハ一般生徒ノ學力増進シタルコト爭フヘカラス即チ前學年ニ於テ比較的劣弱ノ嫌アリシ數學理科等ノ學力モ稍々進歩スルヲ見ルニ至リタリ

入學志願者 募集人員百人ニ對シ百三十六人ノ入學志願者ヲ得其ノ内百十三人ノ入學ヲ許シタリ

入學者父兄ノ職業別 入學者百十三人ノ父兄ノ職業ハ農業四十三人、工業十一人、商業三十四人、公務及自由業二十人其ノ他ノ有業者五人ナリ尙第二學年以上入學者農業二人、商業一人、公務及自由業一人アリ

敦賀實科高等女學校(町立)

學校ノ設備 本校ハ大正八年ノ創立ニシテ敦賀尋常高等小學校ニ併置シアルモ校舍狹隘設備不完全ナルニヨリ新築ノ計畫中ナリ有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ハ專任男二人、女三人ニシテ次ノ如シ

國學院大學卒業	1人
試験檢定	1人
以上 男子	
日本女子大學教育學部卒業	1人
和洋裁縫女學校高等師範科卒業	1人
試験檢定	1人

以上 女子

教員ノ需要供給等 教員ハ相當有資格者ヲ得奏任待遇男一人女一人ヲ有ス

生徒訓育 國民道德ノ涵養ニ留意スルハ勿論常ニ婦人トシテノ自覺ヲ得セシムルコトニ注意シ各學級主任教諭ハ生徒ノ個性ニ應ジテ徳性ノ涵養道德ノ實踐指導ニ任シ又自治協同ノ氣風ヲ養フコトニ勉メ毎週一同全校生徒朝食ヲ共ニシ校長ヨリ訓話ヲ爲スノ例ナリ

生徒學業ノ進否 大正九年度全生徒平均點ハ八十二點五分大正十年度全生徒平均點ハ八十一點三分ナリ

入學志願者 募集人員五十人ニ對シ百一人ノ入學志願者アリ五十四人ノ入學ヲ許シタリ

入學者父兄ノ職業別 入學者父兄ノ職業ハ第一學年農業七人、水産業二人、工業八人、商業二十七人、交通業二人、公務及自由業六人、其ノ他ノ有業者二人ナリ尙第二學年農業一人、交通業一人、商業一人第三學年交通業一人、商業一人アリ

丸岡實科高等女學校(町立)

學校ノ設備 本校ハ大正十一年度ヨリ開校ノ筈ニテ大正十一年二月二十四日文部省告示第九十一號ヲ以テ設置開校ノ件ヲ公示セラレ三月三十一日迄ニ若干ノ教員ヲ任用シタリ有資格教員次ノ如シ

奈良女子高等師範學校卒業	女	1人
東京裁縫女學校高等師範科卒業	女	1人

實業學校

福井農林學校(縣立)

學校ノ設備 本校設備ハ前年度迄ニ完成シ教授管理支障ナキニ至レリ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男十三人兼任男一人ニシテ次ノ如シ

學士ト稱スルコトヲ得ル者	專任 2人	兼任 1人
文部大臣ノ指定シタル者	專任 10人	
文部大臣ノ認可シタル者	專任 1人	

教員ノ需要供給等 本年度ニ於テ他ヘ轉シタル教員三人ニシテ新任用シタル者四人ナリ正教員中年功加俸受給者八人ニシテ相當待遇ヲ厚クシタリ

生徒訓育 實踐躬行ヲ旨トシ生徒手帖ヲ携帯セシメ且通學生ノ監督、寄宿舎ノ監督、級長副級長、舎長、週番炊事係等ノ設及補助機關トシテノ農友會級會共同販賣部ヲ設置シアル等總テ從前ニ異ナル所ナク以テ勤儉力行農林業者トシテノ適當ナル人物ヲ養成スルコトニ勉メタリ

生徒學業ノ進否 生徒得點平均ハ大正九年度七十三點七、大正十年度七十六點三ナリ

生徒實習及修學旅行

實習 學科終了後毎日二時間ノ實習ヲ課スルナ以テ定例トシ職員卒先シテ生徒ヲ指導誘拔シ居レリ

修學旅行 第四學年第一部(農科)三十四人ハ六月三日ヨリ十一日迄長野、栃木、東京、千葉、神奈川、靜岡、愛知ノ一府六縣ヘ、第四學年第二部(林科)生二十四人ハ同期間長野、栃木、東京、神奈川、愛知ノ一府四縣ヘ旅行セリ 又二月十六日生徒二百十人ハ吉田郡東藤島村、下志比村、志比谷村ノ各地ニ於テ發火演習ヲ行ヒ同夜永平寺ニ泊シ翌日再ヒ各村ニ於テ演習ヲ行ヒ歸校セリ

入學志願者 募集人員百人ニ對シ百四十六人ノ志願者アリ漸次志願増加ノ傾向ナリ

學校ト實業界トノ關係 各地開設ノ農產物品評會等ニハ勉テ職員ヲ派遣シ審査ノ任ニ當リ又ハ農事講話ヲ爲シ或ハ果樹園開設造林等ノ依頼ニ應シ病蟲害等ノ防除ヲ指導シ或ハ牛馬耕傳習農具標本等ノ貸與作物ノ種苗幼畜種卵雞雛等ノ分與ヲ行ヒ各郡公私團體ノ農事講習講話會等ノ申請ニ應シ講師ヲ派遣スル等一般農業界ノ利益ヲ計レリ

小濱水產學校(縣立)

學校ノ設備 本年度ニ於テハ生徒控所ヲ増築シ且生徒用購買井戸並足洗場ヲ新設シタルヲ以テ管理上ノ便益ヲ得タリ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男七人、兼任男一人ニシテ次ノ如シ

學士ト稱スルコトヲ得ル者	專任 1人	
文部大臣ノ指定シタル者	專任 4人	兼任 1人
文部大臣ノ認可シタル者	專任 2人	

教員ノ需要供給等 前年末辭職並轉任セル者ノ後任ハ十一月並ニ

月ニ至リ補充スルヲ得タリ又教員ノ待遇ハ相當之ヲ厚クシ奏任待遇ノ者三名アリ

生徒訓育 學校長時々ノ訓話學級主任及級長ヲ設ケ寄宿舎ノ監督看護當番ヲ設ケ卒業者トノ聯絡等訓育ニ勉メタルコト從來ニ異ナラス

生徒學業ノ進否 生徒得點平均前年度ハ七十二點三ニシテ本年度ハ七十一點四ナリ

生徒實習及修學旅行

生徒實習 漁撈科生徒ニハ若越近海ニ於テ漁撈及運用航海ノ練習ヲ爲サシメ兼テ各地ノ漁業ヲ實地調査ヲ爲サシメ外七月十六日ヨリ八月二十四日ニ至ル間ニ於テ實習船雲龍丸ヲ以テ山陰道及南鮮下ノ關方面ニ廻航シ該方面ニ於ケル漁法漁具漁業經營法等ニ就テ視察調査セシメ且運用航海ノ練習ヲ爲サシメタリ合其ノ調査シタル箇所等ヲ掲ケレハ次ノ如シ

- 濱田港 底曳網漁業調査、水產講習所見學
- 釜山 水產物集散狀況、製水會社、水產會社、稅關檢査所
- 方魚津及巨濟島 鯖漁業及一般漁業狀況調査
- 嚴原 一般漁業狀況及烏賊漁業調査
- 勝本 一般漁業調査
- 下ノ關 トロール漁業調査、竹輪製造會社、漁網製作所捕鯨業、早柄水產研究所見學
- 溫泉津 港灣視察
- 西郷港 一般漁業烏賊漁業調査
- 津伊山 手網網漁業調査

製造養殖科 生徒ニハ校内ニ於テ罐詰品、調味品、鹽乾品類及養殖ニ關スル實習ヲ爲サシメタル外七月二十日ヨリ八月三日ニ至ル十五日間京阪及東京新潟等ノ諸府縣ヘ旅行セシメタリ其ノ大要左ノ如シ

- 彦根 水產試驗場ニ於テ養殖及琵琶湖經營事業調査、彦根城外濠放流稚魚飼養池視察
- 京都 全國工業博覽會視察、桃山御陵參拜
- 大阪 罐詰製造所、輸出罐詰檢査所、雞喰場魚市場、東洋製罐株式會社、鯨節及海草販賣店ノ狀況視察
- 郡山 小松養魚場
- 三重縣 大瀬參拜
- 熱田 鯉鱒養殖業調査
- 豊橋 淡水養殖研究所
- 燒津 鯨節製造調査
- 小田原 蒲鉾製造調査、水產講習所視察
- 橫濱 輸出罐詰檢査所
- 東京 日本橋魚市場、東洋罐詰株式會社、林罐詰機械製造所、帝國冷蔵株式會社、東京水產講習所、陸軍糧秣本廠
- 能生 水產學校

修學旅行 第二學年生徒ハ五月二十日ヨリ三日間京都滋賀ヘ、第一學年生徒ハ五月二十一日敦賀ノ旅行シ又十月八日ヲ以テ全校生徒三方郡三十三間山ニ登山シタリ

入學志願者 本年度入學志願者ハ百二人ニシテ本校創立以來ノ最多數ヲ示シ初テ入學試驗ヲ施行セリ隨テ中途退學者ノ數ヲ減少シタリ

學校ト實業界トノ關係 本校職員ヲ各地ニ派遣シ實地指導ヲ爲シ或ハ漁撈製造養殖ノ法ヲ授ケ或ハ改良漁具漁船其ノ他漁業ニ關係アル機械類ノ設計希望者アルトキハ成ルヘク之ニ應シ或ハ漁業組合漁村青年會等ヨリ水産ニ關スル講話講習等ノ要求アルトキハ數員ヲ派遣スル等實業者トノ關係ヲ密接ナラシムルニ勉メタリ

工業學校(縣立)

學校ノ設備 校地校舍ノモ從來ノ如クニテ稍整備スト雖尙設備ヲ要スルモノ少ナカラス漸次之カ完成ヲ期セントス

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男五人、兼任男二人ニシテ皆文部大臣ノ指定シタル者ナリ

教員ノ需要供給等 前年報告後退職二名新任二名ニシテ供給意ノ如クナラス動モズレバ缺員ヲ生セントスルノ傾アリ

生徒訓育 學級主任ヲ定メ生徒通知簿ヲ設ケ級長副級長ヲ置キ又家庭トノ連絡ヲ圖リ其ノ他工友會ヲ組織シ講演會運動會ヲ開催スル等訓育ニ注意セルコト從來ニ同シ

生徒學業ノ進否 生徒得點平均前年七十一點ニシテ本年七十二點ナリ

生徒實習及修學旅行

生徒實習 每週十五時間乃至十七時間實習ニ充テ各學年ヲ二組ニ分チ染色織機ノ實習ニ半學期更代從事セシメタリ

修學旅行 本科第三學年生ハ十月十一日ヨリ十八日迄八日間群馬、栃木、東京、愛知ノ諸府縣へ、本科第二學年生ハ十月十三日ヨリ十六日迄四日間京都、大阪、奈良ノ諸府縣へ、本科第一學年生ハ十月十八九ノ兩日金澤、高岡、富山へ修學旅行ヲ爲シタリ又豫科生ハ十月十五日大野、勝山、平泉寺等ニ旅行シタリ

入學志願者 募集人員四十人ニ對シ志願者百九十四人アリ入學ヲ許可シタル者四十九人ナリ

學校ト實業界トノ關係 染織工業實地指導ノ爲職員ヲ派遣シ又ハ講習會ヲ開キ若ハ生徒實習ノ狀況及其ノ製品ノ縱覽チ一般ノ者ニ許シ且ノ他質疑應答ヲ爲ス等學業獎勵ト産業ノ發展等ニ意ヲ注クコトヲ念ラス又染織工業ニ從事スル職工徒弟等晝間學習ノ餘暇ナキモノ、爲ニ春秋二回毎回三月ノ期間ヲ以テ夜間講習ヲ開キタリ其ノ狀況次ノ如シ

	春季		秋季		計	
	講習生	修了者	講習生	修了者	講習生	修了者
機 織	21	10	13	9	34	19
染 色	11	5	10	6	21	11
計	32	15	23	15	55	30

敦賀商業學校(縣立)

學校ノ設備 本校ハ有名ナル松原公園内ニ在リ蟠居セル老松ノ樹間ニ碧海ヲ臨ミ風光明媚四邊開豁澄澈加フルニ人家車馬等ノ騒音至ラズシテ勉學衛生ニ好適ナルコト蓋シ全國ニ其ノ比少ナキモ其ノ建物ハ町立當時ノモノ多ク未タ舊來ノ面目ヲ改ムルニ至ラス將來内外共ニ改良ヲ要スルモノ尠ナカラス

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男十人、兼任男一人ニシテ專任男一人文部大臣ノ認可シタル者ヲ除クノ外皆文部大臣ノ指定シタル者ナリ

教員ノ需要供給等 是ニ本校ニ於テ起リタル大紛擾ノ餘波ヲ受ケテ本年度内轉退職十一名ニ及ヒタルモ多クハ直ニ後任者ヲ補充スルヲ得反テ無資格者ヲ減シタルハ幸ナリ

生徒訓育 本校ハ大正九年末大紛擾ヲ生シ校規大ニ紊亂シ校風地ヲ拂フニ頗セシモ十年三月新校長ノ來任ト共ニ多數新教員ノ充實ヲ計リ職員一致協力日夜苦心經營シ銳意生徒ノ扶掖善導ニ努メシ結果幸ニ校規ヲ振肅シ生徒ノ氣風チ一新スルヲ得タリ

生徒學業ノ進否 別項記載ノ如ク本年度内ニ於テ多數教員ノ更迭アリタルモ優良ナル教員ヲ以テ補充シタルト教授訓育ノ努力ニ依リ生徒亦從來ノ校規紊亂ニ省ミル所アリ漸ク眞面目ニ勉學セントスルノ氣風見ハレ隨テ前年同様生徒得點平均七十五點九分ノ成績ヲ見タリ

生徒實習及修學旅行

生徒實習 最上級ニハ内國實踐外國實踐ヲ課シ同時同業法及模擬取引ニ依リ實習セシメ教員指導ノ下ニ生徒ヲシテ商家ニ就テ其ノ取引慣習市價等ノ研究ヲ爲サシメタリ

修學旅行 例年本科第四年露語部及日露貿易專修科生徒ヲシテ西比利亞旅行ヲ爲サシムルモ本年ハ浦鹽地方疫病流行ノ爲中止シ五月十一日ヨリ十日間東京日光地方ニ本科第三年生ハ五月十四日ヨリ七日間神戸、廣島、高松地方ニ本科第二年ハ名古屋、伊勢、奈良、京都地方ニ本科第一年ハ福井、金澤地方ニ旅行シタリ

入學志願者 本科露語部及專修科ノ入學志願者ハ依然甚タ少ナク總入學志願者百六十九人ニシテ其ノ内百人ノ入學ヲ許シタリ

學校ト實業界トノ關係 本校職員ハ常ニ實業者ニ接觸シ密接ナル連絡ヲ保ツニ留意シ實際ニ於ケル取引ノ商慣習商品品質經營法書式市價輸出入銀行倉庫保險運送等ヲ視察調査スルニ便ナラシメ機會アル毎ニ實業ノ講演ヲ依頼シ職員生徒共コ之ヲ聴取ス又西比利亞方面ニ往來スル名士實業家ニシテ當地ヲ通過スル者ニ依頼シ講演ヲ催スコト數々ナリ尙實業其ノ他ノ方面ヨリ各種ノ研究問題及英文又ハ露文ノ翻譯ヲ依頼スルモノアルトキハ之ヲ諾シ相當ノ便宜ヲ與ヘ居レリ

福井商業學校(市立)

學校ノ設備 校地校舍及圖書器械標本等殆ト完成シ教授管理支障ナシ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男十一人、兼任男一人ニシテ次ノ如シ

文部大臣ノ指定シタル者 專任 8人 兼任 1人
教員免許狀ヲ有スル者 專任 3人

教員ノ需要供給等 本年度ニ於ケル新任者教諭一人他ニ轉シタル者二人アリ教員俸給ノ校長百七拾五圓、教諭百壹圓貳拾五錢ニシテ前年ニ比シテ增加セリ

生徒訓育 實業家トシテ必要ナル道德ヲ養成シ實踐躬行ヲ勸奨スル目的ヲ以テ生徒監學級主任ヲ置キ又學校ト家庭トノ連絡方法トシテ家庭訪問、保護人招喚、父兄談話會開會、通告簿ノ設備

學則作法要項及生徒心得ノ携帶等前年ニ異ナラス
生徒學業ノ進否 生徒得點平均前年七十四點六五ニシテ本年七十五點二七ナリ

生徒實習及修學旅行

生徒實習 内國商業ハ同時同業法ニ依リ獨立シテ商業ニ従事セントスル者ノ注意スヘキ事項ヲ初メトシ書類手形等ノ取扱其ノ他帳簿通信書類等ノ整理ニ至ル手續ヲ教授シ外國貿易ニ於テハ往復文書電報其ノ他各種ノ書式ヲ作成セシメ以テ英文ノ研究ヲ爲サシムルト共ニ英米商習慣ノ大要ヲ知ラシムルコトニ勉メタリ

修學旅行 本科第三學年ハ日光、東京、鎌倉地方ニ、本科第一、二學年ハ神戸、大阪、和歌山、奈良、京都地方ニ、豫科第一、二學年ハ金澤、七尾地方ニ旅行セリ

入學志願者 募集人員百人ニ對シ入學志願者六百八人ノ多キニ達シタルカ其多クハ福井市在住者ニシテ坂井、足羽、吉田、南條、丹生、今立、大野等之ニ亞ケルノ狀況ナリ

學校ト實業界トノ關係 卒業者ハ何レモ實業界ニ出テ、成績良好ナルヲ以テ學校教育ノ必要ヲ感スル者多キヲ加フルノ狀ナリ

坂井郡立農學校

學校ノ設備 校地校舍等前年ニ異ナラス又圖書器械標本等モ漸次購入シ教授管理支障ナシ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男四人兼任男一人ニシテ皆文部大臣ノ指定シタル資格ヲ有スル者ナリ

教員ノ需要供給等 相當ノ資格者ヲ得轉免者多カラス

生徒訓育 家庭ノ狀況地方ノ風俗習慣等ヲ考慮シ訓育ニ注意シ又生徒心得ヲ定メ之カ實踐ヲ獎勵スルコトニ勉メタリ

生徒學業ノ進否 生徒得點平均前年七十四點七ニシテ本年七十二點九ナリ

生徒實習及修學旅行

生徒實習 每週六時間以上ノ實習ヲ課シ且家庭ニ於テハ相當其ノ業ニ服スルヲ獎勵シ或ハ種子ヲ分與シテ家庭ニ於テ栽培セシメ其ノ生産物ヲ學校ニ於ケル品評會ニ出品セシメ品評會ニ於テハ品評方法ヲ傳習ス

修學旅行 十月十一日ヨリ五日間生徒四十八人ヲ京都及伏見地方ニ旅行セシメタリ

入學志願者 志願者總テ八十二人ニシテ其ノ内六十七人ノ入學ヲ許シタリ

學校ト實業界トノ關係

農事ノ改良發達上實業界トノ關係ヲ密接ナラシムルノ方法ヲ取ルハ必要ナルヲ以テ時トシテハ講習講話農事ノ指導ヲ行ヒ又參觀及相互視察、土地調査等ヲ爲シ或ハ種子ノ交換若ハ分與ヲ行フ

今立郡立農學校

學校ノ設備 校地校舍等前年ニ同シク圖書器械標本等モ漸次購入シ教授管理支障ナシ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男三人、兼任男一人ニシテ次ノ如シ

文部大臣ノ指定シタル者 專任 2人 兼任 1人
教員免許狀ヲ有スル者 專任 1人

教員需給關係 本年度ニ於テハ教諭一人ノ更迭アリタルノミナリ
生徒訓育 勤勉實素ニシテ勞働ニ堪ヘ堅實ナル農村ノ子弟トシテ必要ナル性格ヲ養成スルノ方針ヲ以テ講堂訓話校友會ノ組織、講演會ノ開催傍聴、家庭ノ訪問、生活ノ狀態觀察ヲ行ヒ學級主任ヲ設置シテ監督ヲ爲シタル等從來ノ如シ

生徒學業ノ進否 逐日進歩ノ狀ヲ認ム

生徒實習及修學旅行

生徒實習 第三學年生ニハ水稻ノ競争栽培ヲ課シ各自同一面積二十五歩ノ場所ニ同一品種ヲ栽培セシメ又蔬菜園擔當區域ヲ定メ養蠶ハ第三學年生ニ春蠶蠶量五匁、第二學年生ニ秋蠶蠶量四匁ヲ飼育セシメ夏期休暇中ニハ第三學年生第一學年生交代ニ登校シテ水田蔬菜園ノ實習ニ第二學年生ハ養蠶實習ニ當ラシメタリ

修學旅行 第三學年生ハ三重、愛知ノ兩縣ニ修學旅行ヲ爲シ又全生徒ヲ丹生郡四箇浦ニ旅行セシメ臨海教授ヲ行ヒタリ

入學志願者 七十六人ノ入學志願者アリ五十五人ヲ入學セシメタリ

學校ト實業界トノ關係 校長職員ハ各村農事講話會講習會青年會處女會等ノ講師トナリ或ハ農業品評會ノ審査長又ハ審査員トナリ能ク當業者トノ連絡ヲ保テリ

遠敷郡立農林學校

學校ノ設備 本校ハ前年度ノ新設ニ係リ設備十分ナラサルヲ以テ本年度ニ於テ校舍二十五坪ノ増築工事ヲ施セリ其ノ他附屬建物ヲ新築シタルモノ二三アリ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男二人兼任男二人ニシテ次ノ如シ

文部大臣ノ指定シタル者 專任 1人 兼任 2人
文部大臣ノ認可シタル者 專任 1人

教員ノ需給關係 校長及教諭一名ノ更迭アリタルモ之カ補缺ニハ敢テ困難ヲ感セザリキ

生徒訓育 智能教授ニ偏セス誠實勤儉規律公德自治ノ五日ヲ以テ訓育ヲ施シタルコト前年ノ如シ

生徒學業ノ進否 生徒得點平均前年七十一點ニシテ本年七十點ナリ

生徒實習及修學旅行 教材トノ連絡勞役ノ輕重作業ノ難易等ヲ考慮シテ各學年ニ配當シ重要ナル事項ハ連年反覆實習セシムルノ方法ヲ以テ共同實習、學年擔當、組別擔當、個人擔當トシテ之ヲ行ヒ其ノ他家庭實習、種苗配布、實地見學、農事調査等徹底ノ指導ヲ爲シタリ、修學旅行トシテハ十月三日ヨリ八日ニ至ル六日間生徒十四人ヲ滋賀、岐阜、愛知、三重地方ニ赴カシメタリ

入學志願者 本校ノ入學志願者ハ總テ二十九人ニシテ二十八人ノ入學ヲ許シタルカ未タ募集人員ヲ滿タスニ至ラス

學校ト實業界トノ關係 學校實習場ヲ完成シ多數當業者ノ來觀ヲ吸收シ又職員郡内各種ノ會合ニ出席シ成ルヘク多クノ郡民ニ接シ農業ノ改善發達ヲ指導シ又職員ヲシテ各専門ノ視察ノ當業者ニ接スルノ機會ヲ多カラシムルノ方針ヲ執リ又町村農會ノ品

評會審査長若ハ審査員トシテ職員ヲ派遣シ郡農會ノ如キハ本校ニ於テ開會ノ希望ヲ申込ミ且實業補習學校トノ連絡ヲ保チ農業教育研究會ヲ組織スルノ案ヲ立テタリ

坂井郡立女子實業學校

學校ノ設備 校地校舍等前年ノ如クニシテ圖書器械標本等ハ漸次購入シ教授管理支障ナシ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男二人、女五人、兼任男一人ニシテ皆文部大臣指定ノ資格ヲ有スル者ナリ

教員ノ需給關係 教員ニハ相當ノ俸給ヲ支給シ待遇ヲ厚クシタル爲轉免者少ナシ

生徒訓育 中流家庭ノ主婦タルヘキモノヲ養成スルノ目的ヲ以テ教育シ勞働ヲ厭ハス雜務ヲ嫌ハス清潔整頓ヲ好ミ節約利用ヲ圖ルノ習慣ヲ養フニ勉メ隨時講堂訓話ニ際シテ之ヲ訓授スルヲ例トス

生徒學業ノ進否 生徒得點平均ハ前年七十七點四ニシテ本年七十四點三ナリ

生徒實習及修學旅行 裁縫手藝染織園藝養蠶割烹等ノ實習ヲ爲サシメ修學旅行トシテハ補習生及第三學年八十四人ヲ六月十七日金澤ニ第二學年六十人ヲ同日敦賀ニ第一、二、三學年九十四人ヲ三里濱ニ赴カシメタリ

學校ト家庭トノ連絡 毎年一回保護者懇談會ヲ催シ保護者ニ對シ學校ノ教育方針ヲ説明シ保護者ノ意見ヲ聽取スルヲ例トシ又春秋二回同窓會ヲ開キテ家庭トノ連絡ヲ圖レリ

實業補習學校

實業補習學校ハ工業二、農業百五十八(外ニ分教場十)、水産三、商業三、其他二十四(商船ナシ)ニシテ外ニ改正規定ニ依ルモノノ農業七アリ

補習學校ハ小學校若ハ其ノ他ノ學校ニ附設スルモノナルカ故ニ何レモ小學校又ハ其ノ他ノ學校校舍器具等ヲ使用スルモノ多ク概ニ寺院又ハ大字共有ノ建物ヲ使用スルモノアルノミ故ニ概シテ設備整頓シ教員亦殆ト小學校教員ノ兼任ナリ教授時季ハ農閑ヲ利用シ若ハ夜間ニ於テスルモノ多シ實習ハ生徒各自家庭ニ於テ其ノ業ニ從事スルヲ以テ學校ニ於テ之ヲ課スルノ要ヲ認メザルモ尙青年會等ノ事業タル蔬菜園果樹園及水田等ヲ共同試作スルモノアリ或ハ郡農會技手及郡技手ヲシテ學校ヲ巡回シ養蠶畜産林業其ノ他ノ農事指導ヲ爲サシメタル處アリ又生徒ハ往々他郡他村ニ赴キ農事ノ實地視察ヲ爲シタルモノアリ近來國縣郡等ヨリ補助金ヲ給セラル、ニ至リ稍其ノ面目ヲ改ムルニ至レリ

各種學校

小學校ニ類スルモノ 市立一町村立四ニシテ前年ニ比シ増減ナシ是等ノ各種學校ハ多ク市町村立小學校内ニ設置セラレ教員亦小學校教員ノ兼務スル者多數ナレハ教授管理支障ヲ見ス學科ハ概シテ裁縫家事修身國語等ナリ

高等女學校ニ類スルモノ 私立一アリ仁愛女學校ト稱シ明治三十一年四月ノ創立ニ係リ修業年限四年ノ本科同一年ノ補習科ヲ置キ本科ニハ尋常小學校卒業程度ノモノヲ入學セシム相當ノ教室

及附屬建物ヲ有シ設備殆ト完成セルモ運動場狹隘ナルヲ遺憾トス學科ハ修身地理日本歴史算術圖畫等何レモ高等女學校用教科書ヲ用フ相當ノ教師ヲシテ教授セシメ裁縫家事ハ其技能アル教師ヲ選ヒ又手藝茶儀生花ハ隨意科トシテ課ス教授時數等殆ト高等女學校ニ準シ修身及裁縫ニ一層重キヲ置ケリ學校維持ニハ寄附金授業料及縣市等ヨリノ獎勵金附金ニ依レリ

其ノ他ノ各種學校 私立ニアリ次ノ如シ

私立北陸專修學院 本院ハ私立北陸中學校内ニ設ケラレ 校生徒中志望者ニ限リ佛教ヲ授クル所ニシテ教場其ノ他中學校ヲ使用スルヲ以テ何等ノ支障ヲ見ス而シテ宗乘科ハ聖典ノ原文ヲ用キ素讀通解ヲ授ケ餘乘科ハ佛教ノ要旨三國佛教史各宗綱要ヲ修得セシム各科時々答案又ハ教場使用ノ筆記帳等ヲ提出セシメ應用力理解力ノ増進ニ勉メ第四、五兩學年ヲ福井市内寺院ニ就テ法式及布教ノ實習ヲ爲サシム

私立福井英語學校 本校ハ米國宣教團ノ設立スル所ニシテ校舍ハ福井市内福井聖三一教會堂ヲ以テ之ニ充テ基督敎理ニ基ケル倫理ヲ講シ英語ヲ授クルヲ以テ目的トス學校維持ノ方法ハ日本聖公會傳道局補助金及授業料ニ依レリ

學校衛生

清潔法施行 各學校ニ於テハ日常掃除ヲ行ヒ每季若ハ春秋二回大掃除ヲ爲スコト從來ニ異ナラス傳染病流行期ニハ一層之ヲ嚴ニシテ且消毒方法ヲモ行ヘリ

學校醫視察 師範學校中學校高等女學校甲乙種實業學校等ニ在リテハ年數回學校醫ノ視察アリ或ハ衛生講話ヲ爲スコトアルモ小學校ニ在リテハ年一回兒童身體檢查ヲ行フニ止マルモノ多シ然レトモ本縣學校衛生主事ハ時々學校ヲ視察シ指導ヲ爲シタルコト前年ニ異ナラス

學校醫ノ資格別 學校醫ハ總テ百五十五人アリ其ノ資格別次ノ如シ

帝國大學醫科大學卒業	8人
元東京大學醫學部醫學科別科卒業	1人
東京帝國大學醫科大學國家醫學講習科卒業	2人
官立醫學專門學校醫學部元高等學校及高等中學校醫學部醫學科卒業	88人
府縣立醫學校卒業	10人
醫術師業試驗及第	46人

生徒兒童ノ健康 一般生徒兒童ノ健康狀態ハ良好ナリ傳染病豫防消毒 傳染病豫防ニ就テハ常ニ注意ヲ怠ラス又トラホーム患者ニ對シテハ點眼及治療ヲ爲サシメ撲滅ニ勉メタリ

學校園學林及樹栽

師範學校學校園ハ明治四十二年東宮殿下行啓記念トシテ設ケタル有終園及濟美園アリ果樹及花卉栽培シ發育良好ナリ學林ハ職員生徒ヲシテ管理セシメ育成ニ力メタリ福井中學校ハ財團法人福井中學校學林會ヲ組織シ植林經營ヲ爲スコト從來ノ如シ大野武生小濱北陸ノ各中學校及高等女學校實業學校モ皆相當ノ學校園又ハ學林ヲ有セサルナク何レモ之カ除草栽培等ハ教員生徒ニ於テ之ヲ爲スコト亦從前ニ異ナラス

其ノ他ノ小學校ニ在リテモ學校園ヲ設クルモノ多ク殊ニ山間部ニ

於ケル學校ノ學休ヲ設置シ或ハ學校基本財産蓄積ノ目的ヲ以テ植樹ヲ行フモノアリ

教員檢定及免許狀授與

小學校教員無試験檢定ハ隨時之ヲ施行シ試験檢定ハ定期七八月ノ交ニ於テ福井中學校講堂ニテ施行シタリ本年度檢定總人員ハ男四百十二人、女四百六人合格者男百人、女百六十八人ニシテ師範學校卒業ニ依ル者ヲ併セ男百六十九人、女二百三十二人ニ教員免許狀ヲ授與シタリ

教員講習

郡又ハ郡教育會ノ事業トシテ小學校教員講習會ヲ開キタルモノ多シ講習日數ハ三日間乃至七日間ニシテ地理歴史體操理科裁縫家事衛生等ヲ講習セリ講習員ハ三十名乃至百名ニ及ヒタリ

教科用圖書

中等教育教科用圖書ハ何レモ適當ナリ又小學校教科用圖書中ニハ從前ノ如ク多少ノ遅著ヲ免レザルモノアリ

圖書館

圖書館ハ市立郡立村立各一私立十七アリ前年ニ比シ増減無シ市立福井圖書館ハ明治四十一年ノ創立ニ係リ職員三人ヲ置キ専ラ圖書ノ整理閱覽等ノ庶務ニ従事シ諸般ノ設備整頓セリ本年度開館二百九十九日ニシテ閱覽人員一萬五千六百十九人ニ上レリ今其ノ圖書ヲ種別スレバ次ノ如シ

	閱覽圖書	閱覽人員		閱覽圖書	閱覽人員
宗教哲學	574	857	實業	148	481
法政經濟	76	789	書籍	85	172
文學	1,082	2,092	語	11	31
歷史	851	2,015	雜誌	1,886	4,063
地理	169	404	其他	31	3,881
美術	10	10			
理科	388	831	計	5,407	15,619

又閱覽人員ヲ職業別ニスレバ次ノ如シ

學生	7,561	商業	500	會社員	224
農業	246	工業	108	官吏	135
公吏	42	醫師	26	新聞雜誌記者	3
教員	180	軍人	23	鐵道職員	2
郵便局員	4	僧侶	26	神職	1
羽二重檢査所員	4	其他ノ有業者	5,355	無職	1,179
計	15,619				

郡立三方圖書館ニ在リテ前年ト大差ナク甲乙各七箇ノ書庫ヲ設キ巡回文庫ノ方法ヲ以テ甲ハ各村小學校一箇所ツ、ヲ選定シテ据置期間ヲ定メ一般ノ縦覽ニ便シラシメ乙ハ各村理髮所一箇所ツ、ヲ指定シ一般少時間ヲ利用シテ閱覽スヘキ通俗簡易ノ圖書ヲ收納シテ遞送ス

私立小濱圖書館ハ小濱町教育會ノ施設スル所ニシテ小濱尋常高等小學校内ニ置カル本館及巡回ノ二方法ニ依リ閱覽セシム本館ニ於ケル閱覽人ノ概ネ小學校教員兒童其ノ他地方青年ノ輩ニシテ巡回文庫ハ床屋湯屋旅宿等十數箇所ヲ巡回セシメ専ラ實用ヲ旨トシテ

閱覽セシメタルモ閱覽人員ノ細別圖書ノ種類別等ハ調査シタルモノナシ

其ノ他ノ圖書館ニ至リテハ規模小ニシテ記述スルニ足ラス

小學校教員養成

本年度ニ於テ小學校教員養成所ヲ開キタルモノハ縣事業トシテハ福井高等女學校内ニ第一臨時教員養成所ヲ設ケ尋常小學校本科正教員タルヘキ女子六十三人ヲ養成シ郡事業トシテハ坂井郡ニ一箇所丹生郡ニ二箇所ノ養成所ヲ開キ又教育會ノ事業トシテ坂井南條三方ノ三郡ニ於テ養成所ヲ設ケ尋常小學校本科正教員以下ノ教員ヲ養成シタリ

教育會

各郡市ニ私立各郡市教育會ノ設ケアリ其ノ數十二ニシテ會員一萬餘人ニ上ル私立福井縣教育會ハ郡市教育會ノ聯合組織ニシテ特ニ會員ヲ有セス又市ニハ學區毎ニ教育會ヲ組織シ町村ニ於テモ町村教育會ヲ設ケルモノ多シ此等ノ會員ハ數萬人ヲ算スヘシ教育會ノ事業トシテハ教育ニ關スル研究調査、小學校教員ノ講習、教育學術ニ關スル講話、學齡兒童ノ保護就學ノ獎勵、學事視察、圖書館及通俗博物館ノ經營、機關雜誌ノ發行ヲ爲ス等裨益スル所尠ナカラス殊ニ福井縣教育會ハ大正二年以來訓育學舍ヲ設ケ盲人教育ヲ施シ居レリ又運動趣味ヲ普及シ體育尊重ノ精神ヲ振興セシメ體力ヲ増進セシムルノ目的ヲ以テ若越大會陸上部ヲ十月二十三日福井市公開運動場ニ於テ之ヲ催シ競技者二千名ニ上リタリ

青年團及處女會

青年團 青年團體ノ設置ハ今ヤ漸ク縣下各町村ニ洽ク組織セラレ尙更ニ各町村青年團ヲ聯合シテ郡市青年團體ヲ組織スルモノ十二アリ而シテ町村青年團數ヲ舉ケルハ百八十五團、團員數實ニ二萬五千九百四十七名ニ達ス而シテ團長並役員ハ自主自立ノ精神ニ則リ成ルヘク團員中ヨリ推舉シ指導及援助者トシテハ小學校職員町村吏員在郷軍人町村名望家等之ニ當リ修養トシテハ團誌ノ發行、總會、月次會、幹部養成講習會、一夜講習會、雄辯會等ノ開催及新聞雜誌ノ購置、圖書館、巡回文庫ノ設置、補習教育ノ獎勵等ヲ行ヒ又團體ノ訓練ノ爲メ神社佛閣ノ境内掃除、見學旅行、道路橋梁ノ修繕或ハ朝起會ヲ催シ又ハ公德箱、危險物投入箱、道標等ヲ設置シ揭示板教育、植林ノ手入、道路堤防ノ改築除雪等ノ共同作業、貯金並簡易保險ノ實行ヲ爲シ或ハ體育大會ヲ開キテ心身ノ向上發達ヲ圖レリ又風紀改善ノ爲メ禁酒禁煙ノ獎勵、時間ノ勵行、投書函ノ設置ヲ實行シ尙互助救濟事業トシテハ入退兵ノ送迎、入營者ノ家族慰問業務援助、軍隊慰問、共同理髮、水火震災等ノ救助、消防隊援助等ヲ實行セリ

處女會 處女會モ時局ノ影響ニ因リ特ニ婦女ノ修養自覺ヲ促進セシメ一面青年團活動ノ刺激ヲ受ケテ著シク發達シ即チ縣下各市町村ニ於テ之カ組織ヲ見其ノ數百六十八團體ニ及ヘリ其ノ團員一萬七千二百九十八名ニ達シ指導ノ任ニ在ル小學校訓導百名、女教員六名、名望家二十三名、村長二十六名、村助役一名、教育會長四名、僧侶六名、會員二名ナリ修養トシテハ月次會、總會、講演會、講習會、講話會ヲ開催ス其ノ講習會ニ於テハ作法、染色、家事

經濟、割烹、按摩及鼻緒、編物、裁縫等ノ手藝、補習教育ノ獎勵等
ヲ爲シ團體の訓練トシテハ見學旅行體育會、手藝品展覽會、早起
會等ヲ催シ奉仕事業トシテハ敬老會開會、出征軍隊ニ慰問袋ヲ
贈ル等ノコトヲ行ヘリ

縣會郡會及市町村會

縣會郡會及市町村會ハ何レモ教育費等學事ニ關スル議事ニ就テハ
不當ノ決議ヲ爲スコトナク概シテ平穩ナリ

學事關係職員及學事視察

本縣學事關係職員ハ視學官(教育課長)一人、縣視學二人、屬二人
雇二人、學校衛生主事一人、同雇一人、社會教育主事一人、同雇
一人アリ

郡役所ニ在リテハ郡視學一人教育事務ノ課長ヲ兼ネ其ノ課員ハ郡
書記又ハ雇ノ内一人若ハ二人ヲ置ク市役所ニハ市書記一人、市書
記補一人、町村役場ニハ書記一人若ハ二人ヲ置キ事務ヲ處理ス尙
市町村ニ於テハ區長及學務委員ヲシテ事務ヲ補助セシムルコト從
來ニ異ナラス

學事統計事務ハ縣廳ニ在リテハ一般統計事務擔任ノ屬ヲシテ分掌
セシメ即チ他ノ課ノ主管ニ屬ス郡役所ニ在リテモ近來一般統計事
務擔任者ヲシテ處理セシムルノ漸ク多キヲ見ルニ至レリ

內務部長及視學官ハ多クハ他ノ用務ノ傍ラ學校ヲ巡視シ又ハ郡市
教育會等ニ臨席シテ教育ノ發達指導ニ勉ムル所アリ縣視學ハ縣内
小學校等ヲ巡回スルコト延日數百七日ニ及ブ其ノ他通俗講話會等
ニ出席シタルコト亦數回ナリ

學校衛生主事ハ時々各學校ヲ視察シ衛生ニ關スル注意ヲ爲シ又職
員生徒兒童等ノ身體檢査ヲ行ヒタリ管内巡視ノ回數二十七回五
十四日ナリ

社會教育主事ハ青年會處女會通俗講話會體育會等ニ出席シタルコ
ト三十四回六十六日ナリ

學事獎勵

中等教育諸學校及縣教育會等ニハ本縣ヨリ補助金ヲ交附シ小學校
教員住宅建設ニ對シテモ相當ノ補助金ヲ與ヘ又實業補習教育ニ對
シテハ相當ノ條件ヲ具備スルモノニ補助金ヲ交附シテ獎勵セリ
師範學校、中學校、高等女學校、實業學校、小學校等ニ於テハ其ノ生
徒兒童中學術優等品行方正及精勤ノ者ニハ賞與ヲ行ヒ又ハ製作生
產品ノ品評會展覽會ヲ開キ或ハ貧困兒童ニ金品ヲ支給シタリ其ノ
他青年會處女會ニモ郡市町村ヨリ相當ノ補助金ヲ爲シ通俗教育社會
教育ノ發達ヲモ圖リタリ

社會教育

郡市町村教育會、青年會、處女會及報德會、斯民會等ノ設置漸ク
増加シ實績ルヘキモノアルニ至リ其ノ他圖書館巡回文庫公開運
動場等ノ設置亦増加スルヲ見タリ

教育會、青年團、處女會、圖書館等ハ各別項ニ掲ケタル如クナルカ
尙圖書館令ニ依ラサル圖書閱覽所巡回文庫等ニシテ小學校ニ附設
スルモノ五十有餘ニ上リ又公眾體育ヲ獎勵シタル結果町村體育會
郡市體育會等ヲ系統的ニ開催スルヲ見ルニ至レリ

將來學事施設上須要ノ件

將來學事ニ關シ施設ヲ要スルモノ尠ナカラサルカ最須要ト認ムヘ
キモノハ次ノ諸項ナリトス

- 一、高等小學校ヲ増設スルコト
- 一、農業及理科等ノ學習ニ關スル設備完成ノコト
- 一、體育ヲ徹底セシムルコト

公學費

大正十年度本縣及郡市町村公學費ノ梗概ヲ敘述スレハ次ノ如シ
縣公學費總額ハ百拾五萬五千五百貳拾九圓ニシテ經常費五拾參萬
千參百八拾五圓、臨時費六拾貳萬百四拾四圓ナリ之ヲ前年ニ比
スルニ經常費參千九百六拾八圓、臨時費六萬五千八百拾八圓ヲ
減シタリ是レ職員ノ待遇ヲ厚クシ師範學校生徒給費ヲ増シ且高
等工業學校建築費ニ對スル多額ノ寄附金ヲ支出シタルモ圖書器
械標本費、器具費等ヲ要スルコト尠ク又師範中學等ノ災害復舊
費ハ前年ニ於テ完結ヲ告ケタル爲新營費ヲ減少シタルニ由ル
縣公學ニ屬スル收入總額ハ參拾貳萬貳千參百五拾五圓ニシテ經
常收入拾貳萬四千四百五拾壹圓、臨時收入拾八萬千七百貳拾圓、
基本財産其ノ他ノ收入壹萬七千八百八拾四圓ナリ之ヲ前年ニ比
スルニ經常費萬七千七百參拾圓ヲ増シ臨時費貳萬參千八百拾圓
ヲ減シ又基本財産其ノ他貳千五百參拾貳圓ヲ増シタルハ主トシテ
授業料及年功加俵ニ對スル國庫補助等ニ於テ増シタルモ寄附金
ニ於テ減少シタル結果ナリ

郡公學費總額ハ拾六萬貳千貳百拾四圓ニシテ經常費七萬九千四
拾壹圓、臨時費八萬參千七百七拾參圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經
常費八千八百八拾參圓、臨時費參萬六千九百九拾壹圓ヲ増加シタ
ルハ新營費、修繕費等ニ於テ減シタルモ職員ノ待遇ヲ厚クシタ
ルト縣立中學校建築費ハ四萬圓ノ寄附金ヲ爲シタルヲ主因トス
郡公學ニ屬スル收入ハ貳萬八千參百四圓ニシテ經常收入壹萬四
千七百八拾四圓、臨時收入壹萬參千五百貳拾圓ナリ之ヲ前年ニ
比スルニ經常費西千九百七拾五圓、臨時費五百七拾圓ヲ増加シタ
ルハ國庫補助ニ於テ若干減シタルモ授業料、雜收入及縣補助ニ
於テ何レモ增收アリタルニ由ル

市公學費總額ハ參拾萬九千四百七拾壹圓ニシテ經常費拾八萬五
千參百拾九圓、臨時費拾貳萬四千五百五拾貳圓ナリ之ヲ前年ニ比
スルニ經常費壹萬八千六百九拾八圓ヲ増シ臨時費拾五萬九千參
拾貳圓ヲ減シタルハ職員ノ待遇ヲ厚クシタル爲俸給雜給等ヲ增
シタルモ新營費ニ於テ九萬九千圓、高等工業學校建築費寄附八
萬圓ヲ減シタルヲ主因トス

市公學ニ屬スル收入總額ハ五萬千八百八拾壹圓ニシテ前年ニ比シ
七千五百四拾壹圓ヲ増加シタルハ授業料保育料及寄附金ノ收入
多カリシニ由ル

町村公學費總額ハ貳百拾壹萬貳千五百五拾壹圓ニシテ經常費百七
拾八萬九千四拾壹圓、臨時費參拾貳萬參千八百拾圓ナリ之ヲ前年
ニ比スルニ經常費七萬八千九百九圓ヲ増シ臨時費六萬九千七百
拾四圓ヲ減シタルハ是亦教員ノ待遇ヲ厚クシ又消耗品費ヲ要ス
ルコト多カリシモ新營費七萬餘圓、圖書器械標本費、器具費等
貳萬餘圓ヲ減シタルニ由ル

町村公學ニ屬スル收入總額ハ貳拾九萬貳千七百七拾參圓ニシテ前年ニ比シ五萬五千五百四圓ヲ增シタルハ雜收入ニ於テ四千九百餘圓ヲ減シタルモ授業料、寄附金、補助金、其ノ他何レモ多少ノ增收アリタルニ由ル

公學資產

本年度末公學資產ハ學校ノ設置整頓ニ伴ヒ前年度末ニ比シ縣都市町村何レモ増加セザルハナシ今其ノ現況ヲ敘述スレハ次ノ如シ

縣公學資產ハ土地七萬六千六百八十八坪、建物一萬八千六百七坪ニシテ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額貳百貳拾五萬九千四百四拾五圓ニ上リ前年ニ比シ土地九千九百二十四坪建物千七十八坪ヲ增シ總價額參拾萬五千百參圓ヲ増加シタルハ主トシテ縣立三國中學校ノ新設アリタルニ由ル

縣公學基本財産ハ參萬八千四百八拾八圓ニシテ前年ニ比シ貳千九百九拾貳圓ヲ增シタル向此ノ外基本財産ヨリ縣模範林費へ繰入申九萬八千七百拾五圓、縣費へ繰入申拾貳萬九千六百五拾九圓ニ及フヲ以テ基本財産ノ總額ハ貳拾六萬六千八百六拾貳圓ニ上ルモノトス

郡公學資產ハ土地七千八百二十一坪、建物二千四百八十二坪ニシテ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額拾四萬八千貳百圓ニ上リ前年ニ比シ建物百二十坪、總價額壹萬七千九百九拾九圓ヲ増加シタル但シ基本財産ヲ有セズ

市公學資產ハ土地一萬五千五百七十二坪建物七千二百五十一坪ニシテ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額四拾壹萬貳千貳百七拾貳圓ニシテ前年ニ比シ總價額四萬六千六百六拾參圓ヲ増加シタル

市公學基本財産ハ現在七千參百五拾五圓ニシテ前年ニ比シ九拾壹圓ヲ減シタル

町村公學資產ハ土地十六萬四千四百七十五坪、建物拾參萬八千六百貳拾五圓ニシテ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額五百八萬貳千九拾九圓ニ上リ前年ニ比シ土地一萬四千四百八十八坪、建物四萬六千三百五十二坪ヲ增シ總價額ニ於テハ六拾七萬四千八百九拾六圓ヲ増加シタル

町村公學基本財産ハ現在金拾參萬貳千八百九拾六圓、土地其ノ他ノ價額八萬八千九拾六圓アリ前年ニ比シ金參萬六千八百八拾四圓、價額壹萬四千七百九拾七圓ヲ減シ又積立金參萬四千八百六拾九圓アリ前年ニ比シ貳萬九千五百八拾五圓ヲ減シタル

公學基本財産蓄積ノ方法ハ縣立師範學校中學校高等女學校ハ明治三十六年度以後八十年間實業學校ハ明治四十一年度以後七十五年間授業料其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツルノ方法ニシテ本年度ニ於テモ相當ノ蓄積ヲ爲シタル又各市町村立ニ在リテハ經費ノ殘餘寄附金ヲ以テ基本財産ヲ蓄積シ又學校林等ヲ増設シ基本財産ニ編入スルコト從來ニ同シ

學校維持ノ方法ハ主トシテ縣稅市町村稅ニ依リ其ノ他國庫補助授業料寄附金雜收入ヲ以テ之ヲ補フコト亦從來ニ異ナラス

教育資金

本年度ノ收入ハ資金利子參千八百貳圓五拾參錢、貸附金返還壹萬千六百八拾參圓拾參錢、前年度繰越參萬四千百拾五圓五拾四錢貳厘

國庫下附參千五百九圓七拾貳錢ニシテ小學校建築費ニ充ツル爲壹萬五千圓ヲ貸附シ小學校教員十人ハ疾病治療料トシテ貳千貳百五拾六圓ヲ給シ學事獎勵ノ爲貳千五百五拾四圓ヲ支出シタリ貸附金及獎勵金次ノ如シ

金壹萬五千圓

貸附金

內金參千圓

坂井郡兵庫村兵庫尋常高等小學校

金五千圓

坂井郡雄島村雄島尋常高等小學校

金參千圓

大野郡鹿谷村鹿谷尋常高等小學校

金貳千五百圓

丹生郡織田外二箇村組合小學校

金千五百圓

丹生郡豊村豊尋常高等小學校

金貳千五百五拾四圓

獎勵費

內金貳百五拾圓

小學校教員五人表彰

金百五拾圓

教育自治雜誌編輯部へ交附

金參百圓

仁愛女學校へ交附

金百圓

聾啞學校へ交附

金八百圓

盲人教育獎勵交附

金參百五拾圓

通俗教育施設者へ交附

金六百四圓

學齡兒童保護團二町村四十一團體へ交附

市町村立小學校教員加俸資金

年功加俸ノ教員中成績佳ナル者ヲ選ビ隨時ニ之ヲ給與シ又特別加俸ハ加俸令第七條第一項若ハ第四項ノ場合ハ事實ノ發生シタル時直ニ同第二項第三項該當ノ場合ハ成績佳ナル者ニ之ヲ給與シタル

市町村立小學校教員住宅費

市町村立小學校教員住宅費補助ハ從來ニ同シク住宅建築費ノ總額ニ對シ其ノ十分ノ四ヲ交附セリ本年度ニ於テ補助シタルモノ次ノ如シ

金五百拾圓

坂井郡坪江村熊坂尋常小學校

金參百貳拾圓

足羽郡麻生津村麻生津尋常高等小學校

義務教育費國庫交附金

市町村ニ於ケル義務教育費國庫交附金ノ收入ハ拾貳萬五千四百八拾五圓ニシテ其ノ支途ヲ區別スレハ次ノ如シ

市 金八千五百六拾五圓

教員增俸ニ充ツ

町村 金拾壹萬六千九百貳拾圓

內 金六萬八拾四圓

教員增俸ニ充ツ

金參千七百參拾壹圓

教育施設ノ改善ニ充ツ

金五萬參千五百圓

住民負擔ノ軽減ニ充ツ

斯クノ如ク國庫交附金ノ半額餘ハ教員ノ增俸ニ充テタリト雖間接ニ於テハ全額拾貳萬五千四百八拾五圓ハ之ヲ悉ク住民負擔ノ軽減ニ充テタリト謂フ可キナリ

一年現役兵俸給國庫負擔

一年現役兵俸給國庫負擔總額ハ壹萬五千五百五拾八圓四拾錢ニシテ一年現役兵ニ服シタル者二十八人ナリ

大正十二年七月二十日印刷

大正十二年七月二十三日發行

福 井 縣

岐阜縣大垣市郭町百五十三番戶
西濃印刷株式會社代表者

印刷者 河 田 貞 次 郎

岐阜縣大垣市郭町百五十三番戶

印刷所 西濃印刷株式會社

